トピックス まちのわだい

平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練

危機管理グループ☎079（435）0991

８月30日に東播磨・北播磨地域の８市３町において、平成27年度兵庫県・播磨広域合同防災訓練が実施されました。

播磨町内では、ヘリコプターを活用した重傷者搬送訓練と災害支援物資搬送訓練が実施されました。重傷者搬送訓練では、新たにヘリコプター臨時離着陸場適地として指定した新島中央公園（自由広場）において、加古川市消防本部東消防署播磨分署と連携して実施し、実際の運用を確認しました。災害支援物資搬送訓練では、稲美町で開設された避難所に仮設トイレを提供することとして、兵庫県トラック協会と連携して実施しました。

▲兵庫県消防防災航空隊のヘリコプターに重傷者を搬送する訓練

子どもインターナショナル・キャンプ

播磨町国際交流協会☎079（435）0356

8月2日高砂市、稲美町、播磨町の国際交流協会の子どもたちが加古川市少年自然の家野外活動センターで、外国人の先生たちと様々な英語のゲームで遊んだりする「子どもインターナショナル・キャンプ」を催しました。JICA（開発途上国支援の国際協力機構）職員の中村さんに、アフリカの紙芝居やアフリカ布を使ったしおり作りも教えていただきました。また兵庫大学の大学生と一緒にアスレチック、シャボン玉作りも盛り上がり、楽しい夏の1日を過ごしました。子どもたちをサポートくださったクレッグさん、ジェッシーさん、マシューさん、サマンサさん、マイケルさん、ショーンさん、キンバリーさん、そしてボランティアの皆さま、ありがとうございました。

▲アスレチックでワクワク

日本文化のつどい

県立播磨南高等学校☎078（944）1157

▲琴の演奏に幼い子どもも聞き入っていました

8月26日中央公民館において、日本文化のつどいを開催しました。

吹奏楽、お琴、日本舞踊の舞台発表や折り紙教室やたすきがけ体験などのワークショップ、お茶席、絵画・写真の作品展など日本文化に関する多種多様な内容を通し、高齢者から幼児までが世代を超え交流を深めました。

最後は毎年恒例、播磨音頭の総踊りで締めくくり、今年も播磨町の皆さんと楽しい時間を共有することができました。

昔の窯を再現して土器を焼きました

郷土資料館☎079（435）5000

▲藁で土器を包みます

昔行われたであろう形の窯を作り、土器を焼くという催し「古代窯で古代土器を焼こう」が夏休み期間中に３日間を要して行われました。

▲土の中でゆっくり焼きます

粘土で形を作って乾燥させた土器を藁（わら）の上に置き、薪と藁で覆ってから粘土を塗り固めて窯をつくります。小さな窯口から火を入れると、土の中で蒸されながらゆっくりじっくりと土器が焼かれていきました。藁が燃えきって火が消えても、自然に熱が消える翌日までそのままにして冷まします。

出来上がった土器は、すすけた色も加わって土の肌触りをそのまま残した味わいのある素朴な作品となっていました。

播磨中学校陸上部、播磨南中学校陸上部 全国大会出場

企画グループ☎079（435）0356

第42回全日本中学校陸上競技選手権大会が北海道で開催されました。出場が決まった播磨南中学校陸上部4人と播磨中学校陸上部1人の選手が、大会前に町長を表敬訪問しました。選手の皆さんは「全国大会でもベスト記録を出せるように頑張りたい」と力強く抱負を語ってくれました。また、部活のことや将来の夢も話し、町長は「皆さんの目標にむかって、日頃の練習成果を思う存分発揮してください」と全員と握手を交わし激励しました。

大西 ひかりさん	800m	1500m
山田 龍斗君	砲丸投	
大﨑 洋介君	棒高跳	
久保田 倖輔君	110mH	
岡田 柚希さん	800m	1500m

わんぱくはりまっこ

中村　碧彩（あおい）ちゃん
（南大中）

いつもパワフルな碧彩ちゃん これからも一緒にいろんな事にチャレンジしょうね♡（父・母より）

※撮影時の年齢です。

いいね！はりま 町政レポート No.104

▲BiVi土山は来年４月オープンの予定です

「秋来ぬと目にはさやかに見えねども 風の音にぞおどろかれぬる(古今和歌集)」と詠まれるような初秋の気配を感じる今日この頃です。過ごしやすくなりましたね。涼しくなったこれからの季節にしたいことは山積です。待ちに待った「秋」を満喫しましょう。

◆8月26日土山駅南の町有地において、新たに建設する複合商業施設「BiVi土山」の起工式が行われました。この土地は昭和36年に工場誘致条例により誘致した工場が操業していましたが、その当時の駅南側はまだのどかな田園風景でした。しかしその後、駅周辺の状況も大きく変わり、周辺の環境にそぐわなくなってきた化学工場に対して、周辺住民からも移転の要請がなされておりました。こうした地域の要請を受けて交渉を重ねた結果、平成16年12月に工場は解体撤去、その後土壌調査や土壌改良などが実施され、それと前後して、駅橋上化、考古博物館の開館、病院誘致などが実現し、駅周辺はさらに大きな変貌を遂げていきました。このたび、長年の懸案でありました駅南の町有地が、新たな出発をすることになり、感無量の思いです。まちの玄関口としてふさわしい景観を持ち、利便性が高く、賑（にぎ）わいと交流のある駅前空間として、来年4月のグランドオープンを無事迎えられるよう願っております。また、土山駅は２市２町の接点でもあります。ここを拠点に新たな交流の輪が広がることを期待しています。

◆今、行政では各自治会にお願いをして、「行政懇談会」を実施させていただいております。私と町の幹部が地域に出向いて、予算や町政報告、地域の課題や問題についての意見交換をさせていただいております。皆さまのご意見を反映したまちづくりを進めてまいりたいと思っています。どうぞ、お気軽にご参加を。

播磨町長　清水ひろ子

楽屋裏

秋らしい催しが増えてきました。外で過ごすことが気持ちいいと思う季節にピッタリな催しが、今月の広報に掲載されています。たとえば、いつもは図書館の中で催されている「読書の会」が、今月は大中遺跡公園の青空の下で催されます。ちょっとおもしろい趣向だと思いませんか？詳しくは20ページをご覧ください。スポーツの秋がいいとお考えの方には、21ページにある体力測定&ウォーキングなどいかがでしょう。自分の体力が現在どのくらいあるのか、体成分測定もあわせてできる催しです。すがすがしい季節を楽しみましょう。（宮）

前月号の訂正　９月号のいいね！はりまで「残暑中お見舞い申し上げます。」と表記していましたが、正しくは「残暑お見舞い申し上げます。」です。訂正します。